

南東北通所リハビリテーションセンター-須賀川

クリスマス会開催です。ビンゴカードで一列そろった方からプレゼントを選んでいただきました。ささやかではありますが、職員からの心を込めたプレゼントを受け取って頂き、益々リハビリに励んでいただきたいと思います。冬は出かけるのが億劫になりがちですが、通所リハビリで楽しく笑いながら体を動かし、寒さを吹き飛ばしていきましょう。



ぼたん通信

1月号



南東北パワーリハビリテーションセンター-須賀川

12月吉日 クリスマス会を華やかに行いました。ゲストとして美空ひばりの弟子(自称)の美空すずめさんに物まねをしながら数曲熱唱して頂きました。

利用者様は、歌を口づさんだり、手拍子をしながら感激されていました。又、歌の合間にお笑いトークも入り、お腹を抱えてとても愉快的な時間をすごしました。とても良い、今年の締めくくりとなりました。



〔令和七年一月十五日発行〕

一般財団法人 脳神経疾患研究所
 附属総合南東北病院 附属須賀川診療所
 南東北通所リハビリテーションセンター-須賀川
 南東北パワーリハビリテーションセンター-須賀川

★2025年 年始の挨拶★



明けましておめでとーございませう。
職員一同、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

二〇二五年の干支は「乙巳(きのとみ)」で、巳(み)の年です。巳はへびを意味し、脱皮しながら成長する為「生命」や「再生」の象徴とされています。また、「実」という字と関連させて「実を結ぶ年」とも言われます。蛇は古来より再生と変革の象徴とされており、今年は新たな目標に向けて大きな飛躍を遂げる年となるでしょう。

激動の二〇二四年を振り返ると、元日に能登半島を襲った地震や、線状降水帯による豪雨の多発等による自然災害に翻弄される一年でした。そのような中、夏に開催されたパリオリンピック・パラリンピックでの選手や大谷翔平選手の活躍に元気づけられた一年でもありました。

また、昨春秋に行われた衆院選では与党が過半数割れした一方で、国民民主党は「手取りを増やす」というスローガンのもと、減税や医療制度改革を訴えて大いに躍進しました。「一〇三万円の壁」など若者に訴える政党が国民民主党しかなかったとの事で、人口構成上不利な立場に立たされている若者の怒りがこうした投票行動に影響したものと思われまふ。事実、インフレにより物価が上昇すると、額面の給料等(名目所得)も上がる傾向にありますが、税制が変わらないままだと名目所得の上昇によってより高い税率が適用される事になり、実質的な手取り収入が減少してしまう事があります。この様な事態を防ぎ、物価上昇によって実質的な税負担が増加しないようにする為に行われるのが所得税の調整であり、その必要性の訴えが支持された訳です。

さらに我が国では、国民負担を租税負担と社会保障負担に分けてみると後者への依存が著しく、とりわけ若年層の負担は明らかに高齢者よりも厳しい所得環境となつていませう。こうした状況は少子高齢化により顕在化し、年金、医療、介護など多くの分野で財政的持続可能性が危ぶまれる事態を生じていませう。こうした状況から脱却するには、少なくとも「現役世代から高齢者への所得移転」の要素が大きい部分については、社会保険料の引き上げによる対応をやめ、再分配に適した税による対応に切り替えていく事が望まれます。その過程では、構造的な赤字の解消に向け、幅広い世代での公平な負担が期待できる消費税増は避けられないのではないのでしょうか。

いずれにせよ、社会保障制度は、国民の税金や社会保険料によって支えられています。しかし、財源には限りがあり、すべての国民のニーズに応えることは現実的に難しいという状況を考えなければなりません。医療技術の進歩や高齢化の進展に伴い、医療費は高騰の一途をたどつていませう。限られた財源の中で、すべての医療費を無償にする事は困難であり、医療費の自己負担や保険給付の制限といった対策が講じられる事が必要でしょう。また、高齢化に伴い、介護が必要な人が増えていませうが、介護サービスを提供する為の施設や人材が不足しており、すべての人のニーズに応えることができていませう。少子高齢化やグローバル化といった社会の変化に対応する為、従来の社会保障制度を見直し、新たな社会保障モデルを構築していく必要があります。

最後に、総合南東北病院附属須賀川診療所は、脳神経外科・神経内科外来の「診療部門」と、通所リハビリテーション・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所の「介護サービス部門」から構成されていますが、開所時より「脳神経専門の診療所」として地域の皆様のご要望に応えるべく努力して参りました。本年も職員一同、皆様に「満足頂ける様心がける所存でございますので、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

所長 小泉 仁一



南東北通所リハビリテーションセンター須賀川
電話 (0248)73-3329 (直通)
南東北パワーリハビリテーションセンター須賀川
電話 (0248)73-3129 (直通)
ファックス (0248)72-9590 (共通)
営業時間 8:30~17:00
e-メール : sukagawaclinic@mt.strins.or.jp
ホームページ : <http://www.sukagawa-clinic.com/>
〒962-0032
須賀川市大袋町206-2
(一財)脳神経疾患研究所
附属 総合南東北病院 附属 須賀川診療所
電話 (0248)73-3331 (代表)
【関連事業所】
南東北須賀川居宅介護支援事業所
南東北訪問看護ステーション たんぽぽ